



MS320-12013/14/15 フロントグリル

取付・取扱要領書

この度はTRDフロントグリルをお買い上げいただきありがとうございます。
本書には本商品の取付け・取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け・取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意(ご使用になるお客様へ)は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	備考
MS320-12013	ガンメタリック (21BK06)	カラーアクション カラーフィルダー '17.10~
MS320-12014-A1	ホワイトパールクリスタルシャイン (070)	
MS320-12014-C0	ブラックマイカ (209)	
MS320-12014-C1	フレッシュアゲハガラスレーク(221)	
MS320-12015-NP	未塗装品 (プライマー処理品)	

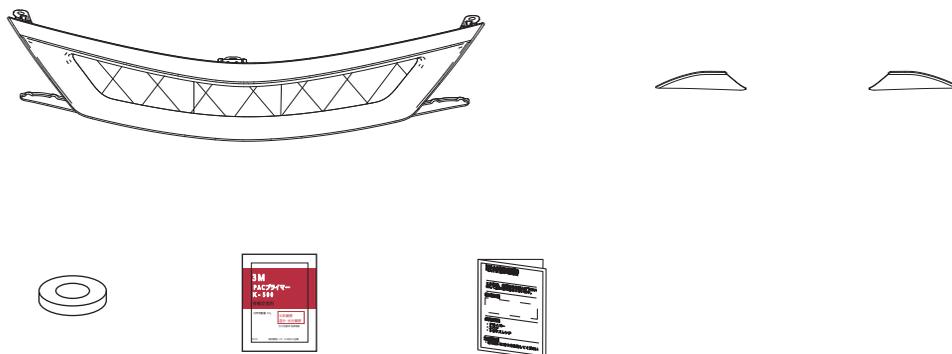
・最新の適合情報はTRDカタログサイトをご覧ください。 <http://www.trdparts.jp/>

■ 構成部品図

	品名	個数	備考
	フロントグリル	1	
	アウター別ピースRH	1	
	アウター別ピースLH	1	
	ラバーワッシャー	2	
	PACプライマー	1	
	取付・取扱要領書(本書)	1	本書

確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品



取付上のご注意（取付作業の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。指定以外のシリコンオフは使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20 以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70 以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

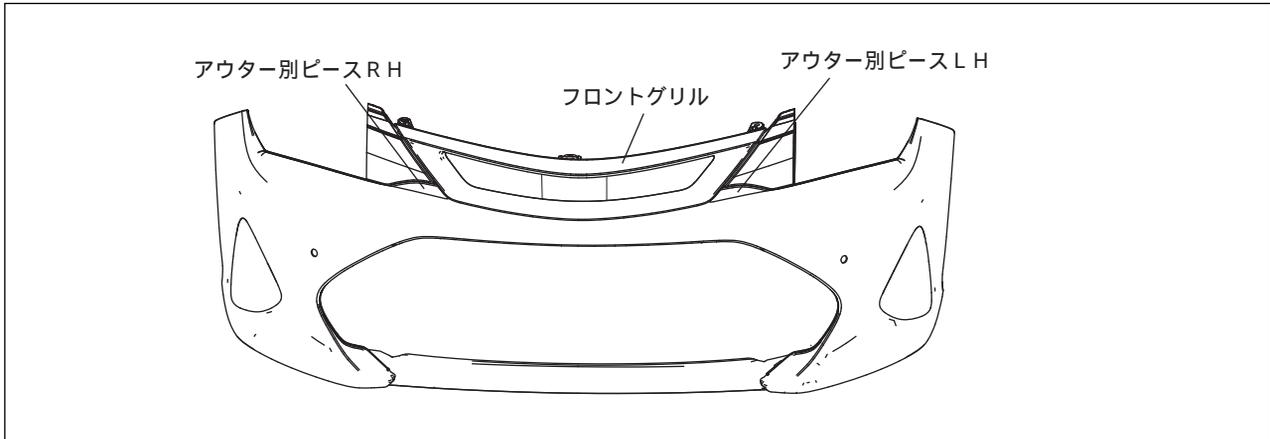
目次

- 1 . 表紙、適合表、構成部品表、構成部品図 1
- 2 . 取付け・取扱いご注意(作業の方へ) 2
- 3 . 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図 3
- 4 . 取付け要領 3 ~ 7
- 5 . 取付け後の確認・点検 7

取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・加工用工具(ハサミ、カッター、エアソー、ドリル、キリ、ホルソー等)・ヤスリ
- ・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(IPA)・清潔なウエス

取付構成図

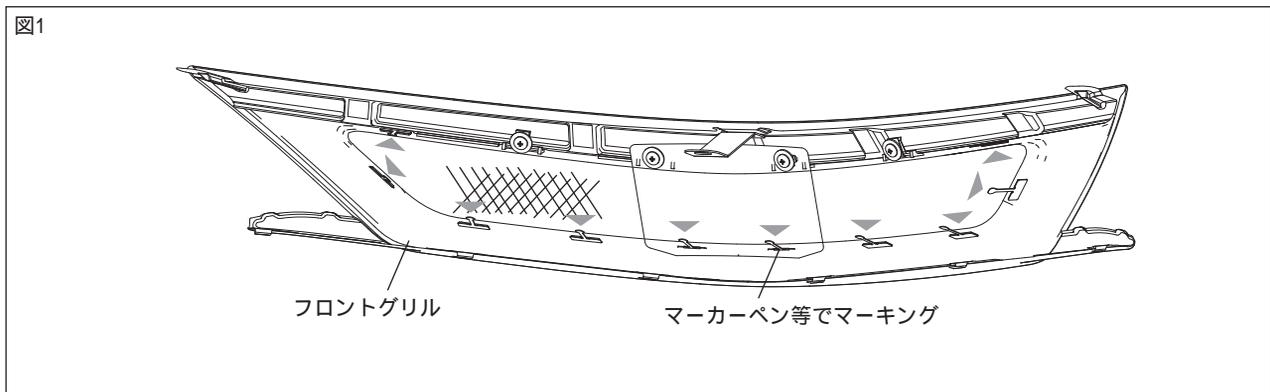


未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

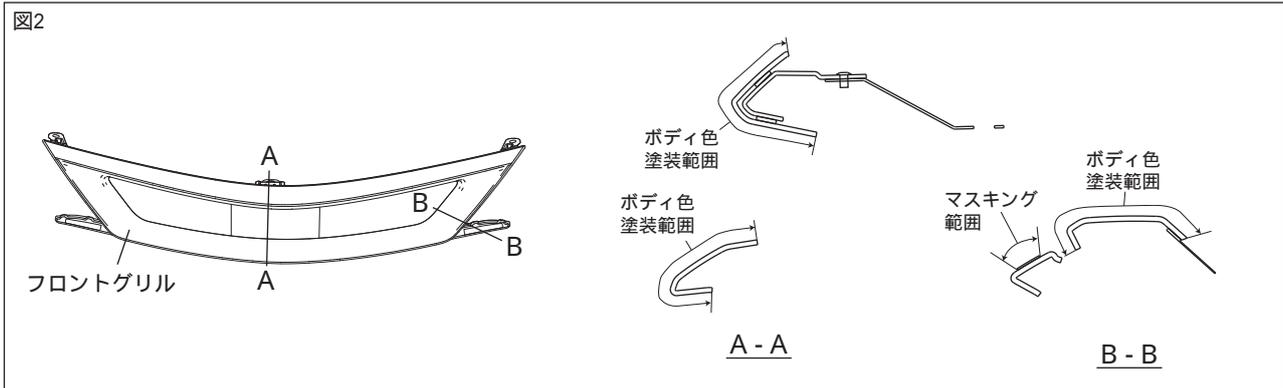
フロントグリルの塗装

本取付・取扱要領書は、主にLHを示しております、RHも同様に行ってください。



1. 図1のようにフロントグリル の網の止め位置をマーカーペン等でマーキングし、網とプレートを取り外す。

△注意：マーキングはオモテ側からみえないようにして下さい。

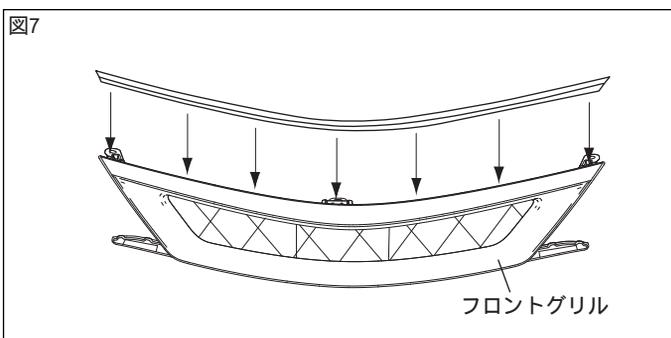
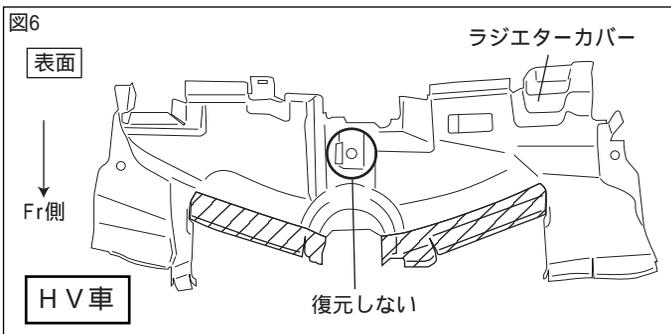
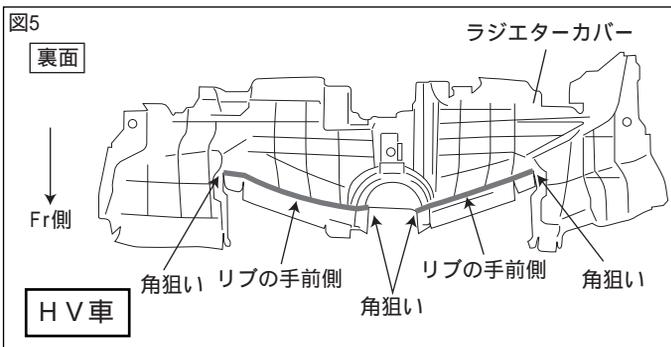
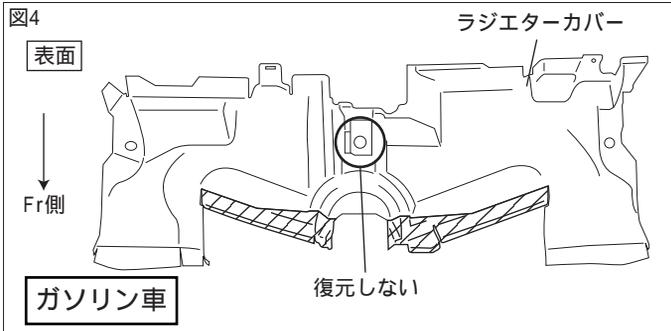
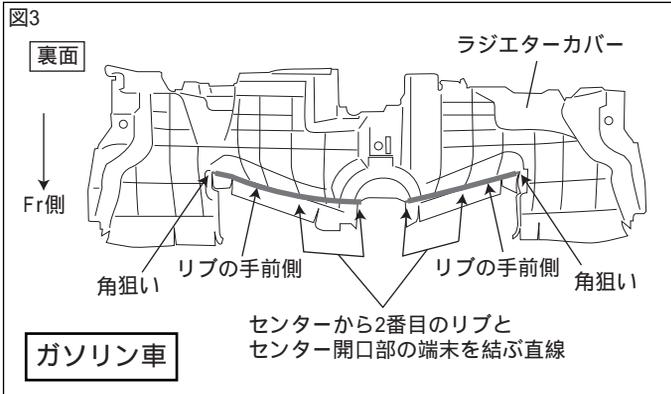


△注意：脱脂をする場合は、IPA又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶ける恐れがあります。

△注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

△注意：乾燥温度を70 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

3. 図1で取外したフロントグリル と網とプレートをマーキングした位置で取付ける。



取付準備

1. 車両修理書に従い、純正フロントグリルおよびフロントバンパーを取外す。

⚠注意：取外した車両ボルトとクリップは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

ガソリン車

2. ラジエーターカバーを取外し、図3のようにラジエーターカバーにマスキングテープ等でマーキングをする。

3. 図4のようにラジエーターカバーのマーキング位置（斜線部）を、カッター等で切り取り、バリを取り除く。

⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。

4. ラジエーターカバーを車両に復元する。

⚠注意：センター部の車両クリップは復元しないで下さい。

HV車

2. ラジエーターカバーを取外し、図5のようにラジエーターカバーにマスキングテープ等でマーキングをする。

3. 図6のようにラジエーターカバーのマーキング位置（斜線部）を、カッター等で切り取り、バリを取り除く。

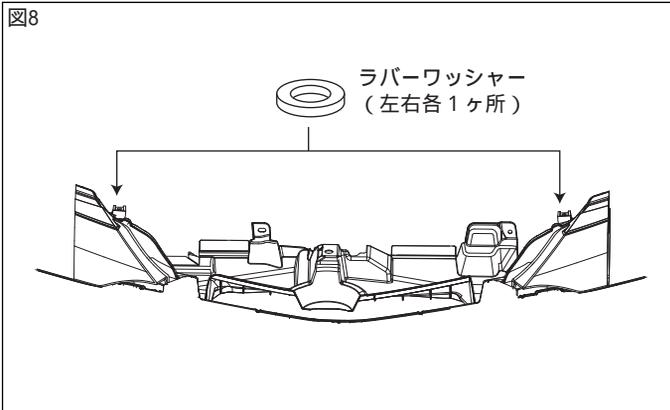
⚠注意：カットする際に、怪我に注意してください。

4. ラジエーターカバーを車両に復元する。

⚠注意：センター部の車両クリップは復元しないで下さい。

5. 純正フロントグリルからウェザーストリップを取外す。

6. 図7のように、フロントグリルにウェザーストリップを取付ける。

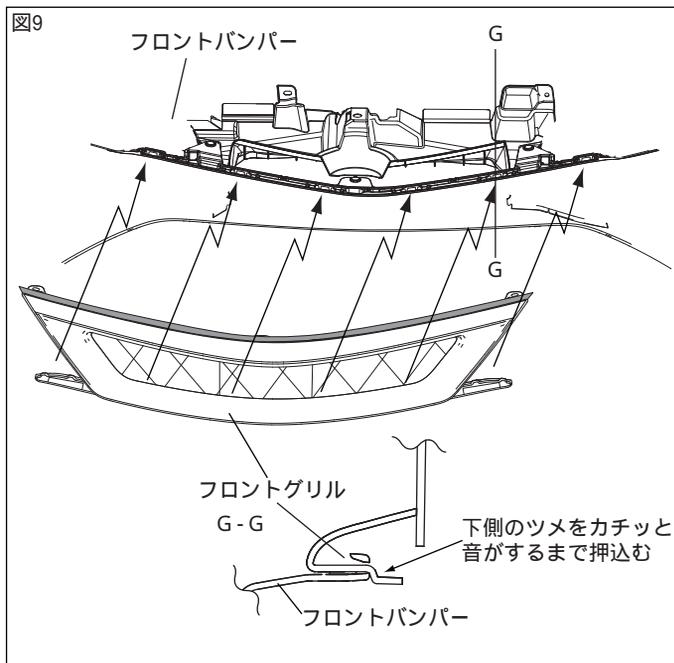


取付要領

1. ラバーワッシャー 取付部の清掃を行い、ホワイトガソリン又はIPAで一方向に拭いて脱脂する。(左右各1ヶ所)

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

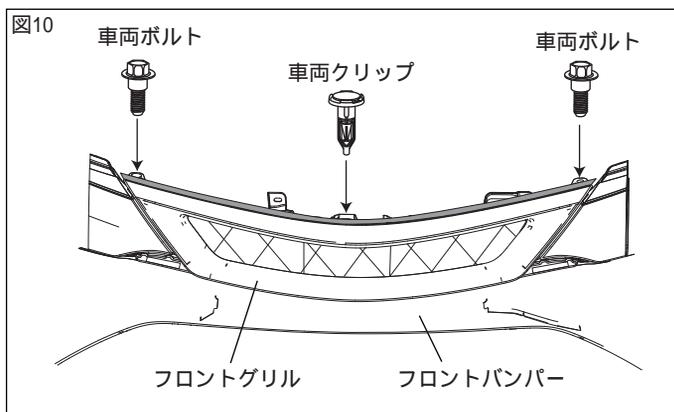
2. 図8のように脱脂したラバーワッシャー 取付部にラバーワッシャー を貼付ける。



3. 図9の断面図のように脱フロントバンパーにフロントグリル 下側のツメを差し込む。(左右各3ヶ所)

⚠注意：下側のツメはカチッと音がするまで確実に押し込んでください。

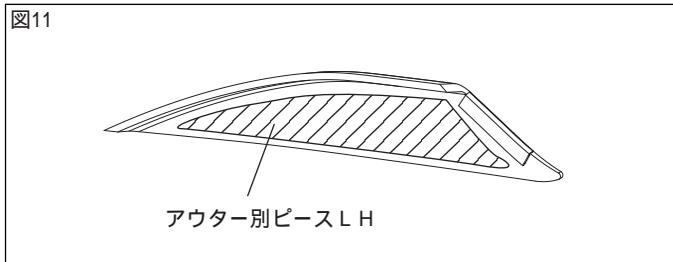
4. 車両修理書に従い、フロントバンパーを復元する。



5. 図10のように車両クリップ (1ヶ所) で固定し、車両ボルト (左右各1ヶ所) で仮締めする。

6. フロントグリル の左右の隙間が均等か確認し、仮締めしておいた車両ボルトを本締めする。(左右各1ヶ所)

図11

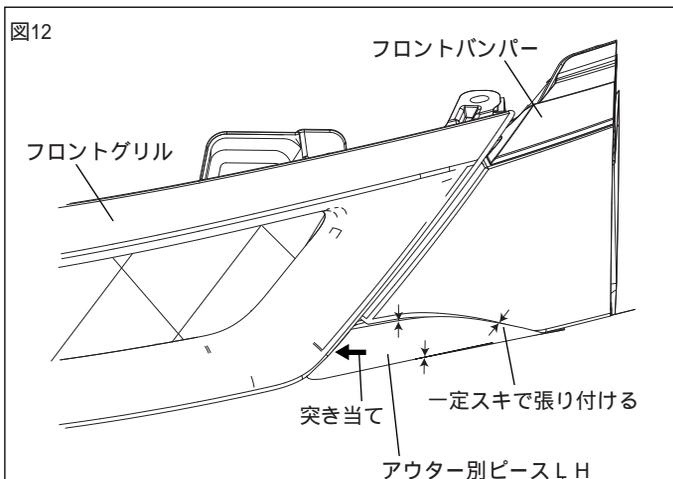


7. 図11のようにテープ貼付部の汚れを取除き、ホワイトガソリン又はIPAで一方向にふいて脱脂し、PACプライマーを塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

👉アドバイス：脱脂、プライマーと富居は、10分以上乾燥させてください。

図12



8. 図12のようにバンパーとの隙間が均等になるようにアウター別ピースを貼付ける。
(左右各1ヶ所)

取付完了後の点検・注意事項

1. フロントグリル、及びフロントバンパーがタッピングスクリュー、クリップにて、車両に確実に取付けられていることを確認する。
2. フロントグリル及び車両部品にキズなどが無いことを確認する。
3. 製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。
4. 車両のランプ類等の機能点検を行う。
5. 作業完了後、車両修理書に従い各種センサー類・灯火類等の再設定を行う。